

連合第二の森

植林活動

地協から

4名の参加



小雨の中、みんなで植えました。



1人 20～25 本程を植えました。



でして山麓の風を感

子谷 6月6日滝沢市、春
第二の森の植林活動
が、遠野地域協議会か
石・遠野地域の板澤
さん、娘さん、藤岡さ
ん、全自交の松田さん
釜石・遠野地協事務局
長が参加しました。今
日も雨が降り出した。そ
うな天気の中、県下各地
から集合した多くの仲
間が岩手山の麓で心地
よい汗を流しました。地
後半に雨が降り出し、
たため、恒例の豚汁と
おにぎりの昼食交流会
は中止になりました。
それでも植林を終え
た充実感と共に山を下
ることにしました。幼
参加者の中には、幼

「尾崎半島火災現場」への植樹

6月13日(土) 昨年に引き続き開催

自然の再生力を再度実感！

尾崎半島火災現場植林活動は、晴天の下、実施
されました。1年に30センチメートルも育つ
という説明を聞いて、成長することを心から願
いながら、一本一本丁寧に植えました。鹿の害が
はびこる現場です。大船渡地区・大槌地区の山林
火災復旧の前例になるともいわれています。今
後も継続することの必要性を強く感じながら、
急斜面の現場に補植をしました。



東北電労、県職労、岩教組、全自交労、こくみん COOP 共済。連合岩手花北地域協議会、協力に感謝です。

県の補助事業は、一昨
年終了しましたが、補植
の必要性もあることで、
釜石地方森林組合と協議
の上、今年も実施の運び
になりました。
2017年5月の尾崎
半島山林火災の後、20
18年に連合岩手が中心
になり、県下呼びかけ
実施したことからこの活
動が始まりました。
釜石・遠野地域協議会
は活動を引き継ぎ、20
22年8月に再開、今年
で通算7回目の開催とな
りました。
今回、県内各地から9
人の参加があり、釜石地
方森林組合の高橋幸男理
事・参事の指導の下、急
勾配の斜面に植林しまし
した。鹿による被害で、
茶色に変色した苗木や、
硬い岩場の中で、根つか
なかった苗木を一本一本
確認しながらの補植活動
になりました。あまりに
も広い山火事の現場を眺
めながら、補植の必要性
と継続性を強く感じた活
動になりました。



湿った風がやってきます。

また、このことは、大船
渡地区や大槌地域の火災
復旧にも言えることです。
今年は、一本183円の
苗木を150本購入し、地
協として補植事業に協力
することになりました。
「海は森の恋人」という
言葉もありますが、海を守
る役割としての森林の大
切さも再確認するよい機
会にもなりました。
その後、大平町仲見世の
「coba」で反省会を
行い、来年度も同時期に開
催することが確認されま
した。多くの皆さんの参加
をお待ちしております。



青く光る太平洋と植林